

## 2022年度 つむぎ 新羽ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.2	ルーム内および併設している新羽どろんこ保育園内の清掃に努めております。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.2	スタッフの専門性の維持、向上に努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.2	休憩、休暇で体を休め、心身ともに健康な状態で支援しております。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		人員体制を整え、適切な環境で支援できるよう努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	4.6	実行後の振り返りを定期的に行い、業務改善に努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.6	体験学習や懇談会などの行事後には保護者様に感想をうかがい、次の活動にいかしております。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	5.0	園内の掲示板に結果を公表し、HPにも公開予定です。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.6	内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.2	法人内研修や外部研修に積極的に参加し、質の向上に努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務の効率化のためにスタッフ間で意見を出し合いよりよい業務方法を考えてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.8	必要に応じて発達検査表を用いて、お子さまの現状をアセスメントしております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	5.0	必要に応じて発達検査表やドキュメンテーション、WEBマップを用いて、ケースカンファレンスを行い、様々な視点でアセスメントをしております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.2	活動前に支援目標を確認し、目標に沿ったねらいを設定し、活動しております。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.6	お子さまの興味・関心に合わせて活動を展開しながら、様々な活動に興味を持てるような環境設定を行っております。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.8	活動前には内容について話し合いを行い、お子さまの様子に合わせて役割分担をしております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	5.0	支援後にはお子さまの様子を振り返り、変化や課題についてスタッフ間で共有し、次の支援に生かしております。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.4	お子さまの様子を記録し、スタッフ間で共有しております。支援前には前回の記録を確認し、検証・改善に努めております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	5.0	適用期間内に見直しを行い、個別支援計画の見直しをしております。期限前にお子さまの成長が見られた時には早期にモニタリングを実施し、お子さまの様子に合わせた個別支援計画を作成しております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.2	地域のスーパーや郵便局などへの買い物では仕事を知ることや地域の方々との交流の機会をつくり、基本活動を複数組み合わせる支援をしております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		お子さまの様子と保護者様のご要望をお聞きし、お子さまにとって最善の支援をその都度考えご提案しております。
保護者との関係機関や連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.2	日々のフィードバックでは、お子さまの様子や成長・課題についてお伝えし、保護者様と共通理解を持てるよう努めております。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.2	所属の幼稚園や保育園等への訪問、電話連絡を行い、お子さまの様子を共有しあい、関わり方の統一や助言をしております。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	4.2	併用して利用している児童発達支援事業所と個別支援計画書やお子さまの様子を共有し、お子さまの理解を深められるよう努めております。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.2	必要に応じて児童連絡票を作成し、支援内容を共有しております。

保護者と関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.2	地域の療育センターと連携し、助言を受けながら支援の質の向上に努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.4	自立支援講義会などの会議に参加し、地域連携を図れるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	5.0	併設する保育園と共に活動している中で、障害のない子どもと活動する機会を設けております。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.2	感染症の流行が収束した際に事業所の行事に地域住民を招待してまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.4	保護者様の不安・悩みに寄り添い、対応方法を相談しながら改善策を伝えております。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		保護者様のご要望があった際に関係機関との連携を図りたいと考えております。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	5.0	保護者様に分かりやすく丁寧に伝えることを心がけて説明しております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.6	日々のフィードバックの中で保護者様の悩みをうかがい、気持ちに寄り添いながら相談や助言を行っております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.2	月に1回保護者様参加の行事や年に2回懇談会を開催し、保護者様同士の交流の機会を作っております。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.8	保護者様からのご意見があった際には即日情報共有、話し合いを行い、迅速かつ丁寧に対応することを心がけております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.4	月に1回ブログを更新し、活動内容の報告や発達支援のねらいを記載し、情報発信しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.2	お子さまの様子に合わせて簡潔な言葉や写真やイラストを用いて伝えております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.8	個人情報の取り扱いには十分注意し、書類保管・書庫の管理をしております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	5.0	お子さまの様子や保護者様からの申し送りについて、その都度情報共有を行っております。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		お子さまと保護者様が安心して通うことができるよう、優しく穏やかに丁寧な関わりを心がけております。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.8
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.8	避難訓練を定期的に行い、非常災害時に迅速な対応ができるよう備えております。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.8	虐待研修を受講し、虐待の予防に努めております。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.6	ヒヤリハット報告書を作成し、月に一度振り返りを行い、事故防止に努めております。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		非常時に迅速に適切な対応ができるよう、お子さまの様子を予測し、避難訓練を実施しております。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.8	お子さまの興味を持った活動を広げながら、楽しいと思える活動を展開してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.8	保護者様とフィードバックやモニタリングを行う中で、ささいな変化や成長を伝えあい、保護者様とお子さまの変化や成長について共通認識をもてるよう努めております。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2022年8月12日～9月5日

全回答数：5

つむぎ 新羽ルーム  
施設長 浅田 沙貴